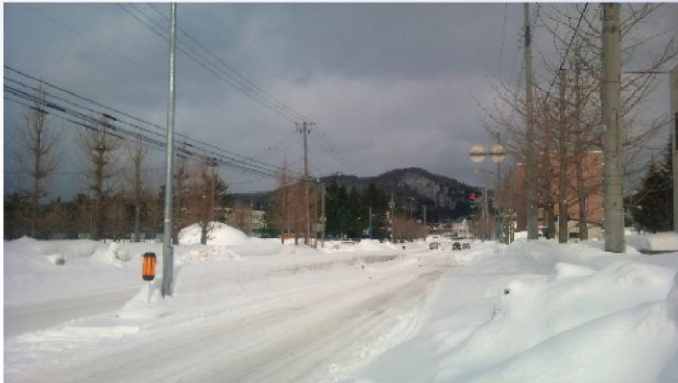




青森市郊外の戸山団地中心部から山々を望む  
(2013年 2 月 秋元 菜摘 撮影)

## 地理空間学会ニューズレター

### TOPICS

- ・第7回大会のお知らせ(第2報)
- ・第7回大会巡検のご案内(第1報)
- ・第17回例会の報告
- ・学会賞受賞者コメント(市川康夫, 遠藤貴美子)
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」(秋元菜摘)

JAGS

## 第7回大会のお知らせ (第2報)

地理空間学会では、第7回大会を下記の通り開催いたします。

### 【日 程】

2014 年 6 月 28 日(土)：研究発表，評議員会，総会，懇親会

6 月 29 日(日)：巡検（川越市を中心とする地域）

### 【会 場】

立教大学 新座キャンパス（埼玉県新座市北野 1-2-26）

○研究発表，評議員会，総会：6 号館

○懇親会：太刀川記念交流会館

### 【交 通】

○JR 武蔵野線新座駅南口より，1 番乗り場から西武バスまたは 3 番乗り場からスクールバス（無料）に乗車，「立教前」下車，約 10 分。

○東武東上線志木駅南口より，2 番乗り場から西武バスに乗車，「立教前」下車，約 10 分。

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/direction/>

### 【大会参加費】

○一般会員・非会員：500 円

○大学院生・学生会員：無料

※懇親会費は後日お知らせします。

ご質問，エントリーは [jags-meeting@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:jags-meeting@geoenv.tsukuba.ac.jp) どうぞ。



### ●研究発表（口頭，ポスター）募集中●

※会員である院生・学部生は大会参加費＜無料＞です。

※ポスター発表では，優秀表彰を行います。

発表題目締切：5 月 7 日（水）

要旨集原稿締切：6 月 17 日（火）

## 第7回大会巡検のご案内（第1報）

6月29日(日)に大会巡検がございます（雨天決行）。本巡検は川越市にお詳しい溝尾良隆先生（帝京大）のご助力を得て実施いたします。

【巡検テーマ】

小江戸・川越の地域変容

一過去・現在から将来を考える一

【オーガナイザー】

石坂愛・金延景・児玉恵理・橋爪孝介・渡邊瑛季

（筑波大・院）

【集合場所・時刻】

9:30 東武東上線川越駅改札前

【解散場所・時刻】

16:00 東武東上線川越駅改札前（予定）

【参加費】

1,000 円程度（入場料・保険料込，昼食代別）

【内容】

川越市の商業・観光・自然・歴史・交通・産業  
徒歩による実施



川越一番街の蔵造りの町並み

（2014年4月 橋爪孝介 撮影）

【昼食】

希望される方には国の登録有形文化財のモダンな建築が特徴のレストラン・太陽軒（川越市元町 1-1-23、<http://www.kawagoe.com/taiyoken/>）でのお食事をご用意しております。予算は1人2,000円程度です。各自で自由にとっていただくことも可能です。参加申し込み時にお知らせください。

※巡検の参加には事前の申し込みが必要です。

巡検参加ご希望の方は、電子メールにて、件名に【巡検申込み】を、本文に参加者（全員分）の氏名、所属、当日連絡可能な連絡先（携帯電話番号など）、太陽軒での昼食の有無を明記の上、石坂 ([s1220932@u.tsukuba.ac.jp](mailto:s1220932@u.tsukuba.ac.jp)) までご連絡ください。

締め切りは6月17日（火）とさせていただきます。具体的な巡検行程、最新の情報につきましては、地理空間学会 HP (<http://jags.ne.jp/index.html>) に随時掲載します。なお、誠に勝手ではありますが、巡検行程や巡検の形式上、定員を25名とさせていただきます。また、締切以前でも定員に達し次第、受付を締め切らせていただくこともありますので、ご容赦ください。

## 第17回例会の報告

以下の通り、第17回の例会が開催されました。参加者33名。要旨は、「地理空間」第7巻1号に掲載します。

【第17回例会】

◆2014年2月4日(火) 13:30～18:00

◆筑波大学東京キャンパス文京校舎 122 講義室

◆報告者・題目

○湯澤規子（筑波大）：家内工業における家族労働者の構造と役割—高齢者の役割に着目して—

○横山貴史（神奈川大）：漁業地域における高齢者の役割と可能性—千葉・宮城のフィールドから考える—

○植村円香（東京大）：高齢農業者の多様性とその要因—地域労働市場に注目して—

## 学会賞受賞者コメント

この度、地理空間学会 2013 年度（第 6 回）学会賞の奨励賞を受賞された市川康夫会員、遠藤貴美子会員から受賞のコメントをいただきました。

---

### 奨励賞 市川康夫会員（筑波大）

この度は、拙稿「中山間農業地域における広域的地域営農の存立形態ー長野県上伊那郡飯島町を事例にー」（地理学評論 84-4）、「フランス条件不利地域における山地農家の経営戦略ーマッシフ・サントラル、メザン地域を事例に」（地学雑誌 121-6）に対して、奨励賞を賜り光栄に存じます。これらの論文は、前者は修士論文を基に、後者は博士論文の調査を基に執筆したのになります。それぞれ、日本とフランスと国は異なりますが、私の関心は政策と農業の関係であり、特に政策の力が大きく働く山間部や縁辺地域において、マクロな力がいかにミクロな農村の経済活動に影響を与えているのかを調査したものになります。

どちらの論文も山間地域でのフィールドワークに基づいており、マウンテンバイクで農家を訪ね歩き、疲れたら

周囲の山々や自然を眺めたりと、とても楽しく充実した調査であったことが思い出されます。大学院に入学して以来、フィールドワークの方法や基礎の多くは大学院での巡検や講義を通して学びました。今回の奨励賞にも挙げていただきました共著「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」（地学雑誌 119-5）もその成果の一部になります。国内調査に加え博論でのフランス海外調査をなんとかこなすことができたのも、これら大学院での巡検や講義での学びのおかげであり、フィールドワークの基礎をお教えたいただいた大学院の先生方そして諸先輩方にはこの場を借りて感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

---

### 奨励賞 遠藤貴美子会員（筑波大）

この度は、拙稿「東京城東地域におけるカットグラス産業の生産・流通構造変化ー『江戸切子』の創造的側面に着目してー」（地域経済学研究 25）、および「東京城東地域におけるカバン・ハンドバッグ産業集積の存立基盤ー企業間の受発注連関とコミュニケーションの分析を通じてー」（地理学評論 85-4）に対し地理空間学会賞（奨励賞）を賜り、誠に光栄に存じます。

私は国際競争下における国内工業集積地域の意義や役割を研究の主題としております。前者は 2009 年に成蹊大学に提出した卒業論文を骨子としています。板倉勝高先生・井出策夫先生・竹内淳彦先生の『東京の地場産業』（大

明堂、1970）に感銘を受けるとともに、同書が出版された後におこった経済のグローバル化や伝統工芸品指定が産地構造へおよぼした影響に関心をもったのをきっかけに、初めての調査・研究を東京で始めたことをなつかしく思い出します。

後者は 2011 年に筑波大学に提出した修士論文を骨子としています。これは、国際分業が進展しつつも集積が維持されている業種を対象に、集積内における企業間ネットワークの特徴を調査・分析することで、国際分業下における国内集積の意義や国際分業システムのメカニズムを解明する一助にしたいという目的で執筆いたしました。現在、

分析の焦点を海外産地も含む国際的な企業間ネットワークに拡大するなど、これまでに生じた課題の克服や研究の発展に努めております。

今回のような賞をいただくことができたのは、ひとえに小田宏信先生、手塚 章先生、呉羽正昭先生をはじめとす

る多くの先生方からのご指導，院生諸氏からのお力添え，地域の皆様からのご協力のおかげでございます。この場をお借りして皆様へ心より感謝申し上げます。今後も地道に調査・分析を重ね，精進してまいります。

## 学会からのお知らせ

### <会計委員会からのお知らせ>

#### 1. 会費納入のお願い

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第6巻2号に同封した振込用紙でお支払ください。納付したか不明な方や振込用紙を希望の方は、事務局までお問い合わせください。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名と所属先の明記をお願い致します。

〔年会費の振込先〕

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00120-5                      口座番号：779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行                      金融機関コード：9900

店番：019      店名：〇ー九店（セ）ロイチキュウテン）

預金種目：当座                      口座番号：0779957

受取人名：チリクウカンカ” ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000 円    大学院生会費 2,000 円

学生会費 1,000 円

#### 2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

〔地理空間学会学術基金の内容〕

名      称：地理空間学会学術基金

目      的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

ご依頼額：1 〇2 万円（何〇でも可能です）

〔振込方法〕

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00150-3                      口座番号：707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行                      金融機関コード：9900

店番：019      店名：〇ー九店（セ）ロイチキュウテン）

預金種目：当座                      口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ” ツカイカ” クシ” ユツキキン

2013 年4月に田林明会員より、2013 年 11 月に故・高橋伸夫会員のご家族様より寄付を賜りました。厚く御礼申し上げます。

※ 基金への寄付をいただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入ください。不明な点は、事務局までお問い合わせください。



## ＜編集委員会からのお知らせ＞

### 1. 次号以降の投稿について

第7巻1号は、2014年6月20日の発行を予定しております。原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員の皆様の活発な投稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については、地理空間学会ホームページをご覧ください。

### 2. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研

究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場合には、学会事務局までお知らせください。

### 3. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡ください。

## コラム「わたしのフィールドから」

秋元 菜摘（東京大・院生）

コンパクトシティ政策で知られる青森市では都市構造を同心円状に区分しており、中心市街地区を含むインナー、ミッド、アウター（浪岡地区は除く）の3つのエリアごとにまちづくりの方向性があります（図1）。アウターエリアでは開発を抑制し、自然環境との調和が目指されていますが、地形が険しくなる手前には郊外団地や集落が広がっていることから（表紙写真）、住民生活に配慮した計画が求められます。

青森市は市全域が特別豪雪地帯に指定されており、特に冬季は、日常生活における移動の問題が重要になります。自動車を使える住民にとっては中心市街地や郊外の生活関連施設を利用することは容易です。しかし、郊外に居住する交通弱者の足はバス交通や近距離の徒歩移動に制約されます。例えば、戸山団地の近隣商業地区には、小売店や銀行が立ち並び、路線バスも通っていますが（写真1）、それでも雪の中での生活には苦勞があります。団地内の地形は平坦ではなく、戸建て住宅は坂の上にも広がっています（写真2）。集合住宅も傾斜地に建てられており、買い物袋を提げて雪の坂道を上る人の姿が見られます（写真3）。更に、団地内のスーパーマーケットが撤退する度、日々の買い物事情は不便な状態に陥ってきたことが推測されます。郊外からインナー・ミッドエリアにアクセスするための路線バスも整備されていますが、現状では乗車時間が長く、運賃が高いなどの問題を抱えています。

今後、人口減少・高齢化が進むにつれて、公共交通のサービス水準の維持が困難になったり、近隣の生活関連施設が撤

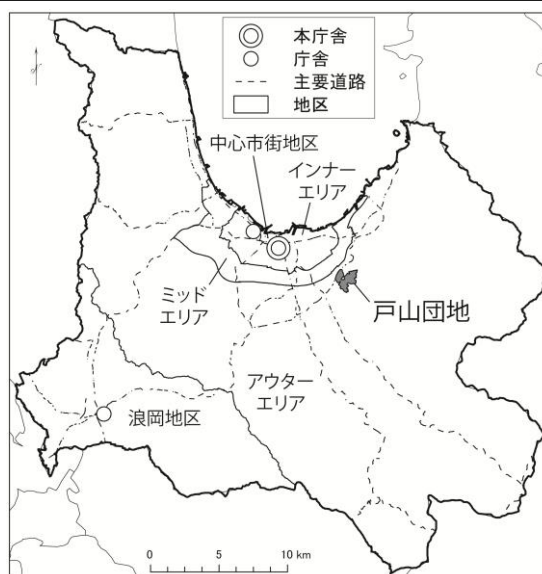


図1 青森市の目標とする都市構造

退したりする可能性が高まることから、郊外の交通弱者を取りまく生活環境は不安定であるといえます。1999 年に青森市都市計画マスタープランが策定されてから今日に至るまで、コンパクトシティへの転換過程における諸課題を解決する仕組みが模索されつづけています。



写真1 近隣商業地区



写真2 山際の戸建て住宅



写真3 坂道を歩いて上る住民

\* 図・写真は筆者作成です。

#### 編集後記

ご案内のように、地理空間学会の第7回大会を、立教大学新座キャンパスで開催いたします。皆さまどうぞ奮ってご参加ください。

ニュースレターでは学会に関連した情報を適宜掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら、事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページで随時更新しております。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト（[jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp)）を開設しております。すでに多くの方に参加いただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

**JAGS** Japan Association on Geographical Space

## 地理空間学会ニュースレター 第18号

発行日：2014年4月25日

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

発行所：地理空間学会事務局

筑波大学生命環境系地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail [geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp)

URL <http://jags.ne.jp/>